

ましたが、「誰も安全と言わ
ず、責任を負える人もなく、
原因も未解明のまま、そして
なにより3.11の災禍がいま
だ続くこの国で、原発再稼働
とは！」企業と電力にのみ
向き合う安倍政権に怒りの
渦がまいている。

核ミサイルの危険性は語つても「放射能」「原発」の危険性は語らない安倍首相に私たちの暮らしは任せることができません。

アフ^ルの「アフ^ル」は、ISの人質交換事件をめぐる日本政府の対応をめぐる政治小説。ISに人質を取られていながら、日本政府はISに2億ドルの救援金を支払うことを約束するなど、ISの威嚇に屈する姿が描かれており、政治小説としての面白さがある。また、ISの活動や日本政府の対応など、現実の政治問題を題材としている点も特徴的だ。



「戦争法反対！憲法改悪阻止！」の闘いを労組、職場、地域で 創ったぞ！ この結集力を8.30集会（犀川河川敷）へ、国会10万人全国100万人集会へ！

参院山場で「戦争法を廃案に追い込み！ 国民を戦争に動員する安倍内閣を打倒しよう！」

に安保法制の問題点を説明



平和安全法制整備案、「国際平和支那法」		
賛成	わからない	反対
7/6 ~ 7/26 87人 (3.1%)	7/6 ~ 7/26 273人 (9.9%)	7/6 ~ 7/26 2,410人 (87.0%)

16衆院強行採決糾弾！
500名が結集



晴れた日も雨の日も

